

北区自治協議会 部会会議概要

地域づくり部会	p. 1-3
福祉教育部会	p. 4-5
自然文化部会	p. 6

第3回 地域づくり部会 会議概要

日 時	平成29年9月21日(木曜) 午後2時45分から午後4時30分
会 場	北地区コミュニティセンター1階 和室2
出席委員	本間(久) 部会長、阿部(恵) 副部会長、阿部(康) 委員、五十嵐(隆) 委員、本間(藤) 委員、山賀委員、阿部(淳) 委員、上松委員、川島委員、小林委員、倉島会長
欠席委員	なし
事務局 関係課	地域課長(兼副区長)、建設課長、産業振興課長、総務課長、地域課(尾崎)
会議要旨	<p>1 部会で協議するテーマ、課題について</p> <p>これまでの検討を踏まえ、以下の4項目について今後優先的に取り組む分野について話し合いを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業の振興等について ○若者が住みたくなるまちづくりについて ○学生や各世代間の交流について ○公共交通について <p>(1)「若者が住みたくなるまちづくり/学生や各世代間の交流」関連 学生と地域との交流について活動報告(上松委員)</p> <p>上松委員から、松浜地区などで取り組まれている新潟医療福祉大学となどの交流活動について情報提供を行った。</p> <p>[主な内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松浜地区と豊栄地区で大学のサテライトキャンパスをつくり、地域との交流機会をつくろうと検討を行っている。 ・学生にも授業や生活があるため、学生が喜ぶ、地域に引き込まれる取り組みの視点も必要である。 ・先生から生徒へ声をかけてもらっている状況であり、地域に住んでいる学生が参加しやすい環境づくりが大事である。 ・陽光地区では、学生の歓迎会をやっており、加治川地区では地元の自治会館で四送会を行っている。 <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部分的ではなく、自治会やコミュニティ、区全体に交流を拡大すればいいのではないか。アルバイトや地域のイベントなど情報提供も

会 議 要 旨

できる。受け入れの仕組みづくりが必要である。

- ・空き家対策にもなるのではないか。
- ・松浜地区では、学生ボランティアにイベントで助けてもらっており、今後も大いに関わってもらいたい。近くに住んでいる人に多く関わってもらいたいため、窓口になるようなところがあると助かる。
- ・声がけするために、名簿のようなものがあると助かる。
- ・以前豊栄駅前にあったサテライトキャンパスの維持費用は家賃5万円/月、光熱水費の負担程度であった。当時は、大学と行政の負担と寄付で賄っていた。すぐ使用することは可能である。
- ・以前学生とまちなかの活性化について意見交換をした際、気軽に入れて勉強や話ができるスペースがほしいという意見が多かった。
- ・身近な学生に声をかけて取り組んでいる地域の団体もある。(謝礼あり)。また医療大生以外の学生にも声をかけている。
- ・学生との交流を今後、農業や様々な分野でやれる可能性はある。
- ・ボランティア活動が、単位など授業に結び付くといいのでは。
- ・松浜Rプロジェクトでは、20代から30代の若い世代が参加し、新しいものをつくるのではなく、既存のあるものをうまく生かして、地域の魅力を発信できないか取り組んでいる。

(2) その他のテーマ 「公共交通について」

[主な意見]

- ・マイカーよりも公共交通が必要とされることが大事である。専門家は、公共交通はまちづくりに生かしていくということが大前提としている。
- ・先進地は産・官・学が連携して取り組んでいる。専門の研究機関をつくる必要がある。

<次回について>

今回出た情報などについて、さらに関係先から情報を収集し、検討を続けることとする。

2 平成30年度 北区特色ある区づくり事業について

(1) (仮)「Northern Music Festival2018の開催について」

前回に引き続き、阿部(淳)委員から、音楽イベント開催の提案内容について説明を行った。

(2) 北区賑わい創出事業

地域課長から、平成 28、29 年度の事業実績と平成 30 年度の取り組み予定について説明を行いました。

(3) 「松浜海岸の環境整備と地域活性化」事業

建設課まちづくり係長から、平成 30 年度以降の取り組み予定について説明を行いました。

[主な意見]

- ・クラシックからロックなど、特定の音楽に関わらずジャンルが広いので見に行きやすいのではないか。
- ・プログラムはジャンル分けするなど工夫が必要である。
- ・学生には、マンパワーというだけでなく多く来場してもらいたい。
- ・出演者として学生に参加してもらうこともできるのではないか。

<次回について>

さらに詳しい提案内容について情報提供をいただき、意見交換を行うこととした。

3 平成 29 年度自治協議会提案事業今後の予定について（部会関係）

「松浜海岸の環境整備と地域活性化」について

建設課まちづくり係長から、平成 29 年度の植樹について説明を行った。

<植樹の実施について>

- ・実施日 10 月 10 日以降を予定
- ・参加者 松浜地区の自治会、小学生が参加

[主な意見]

- ・地域以外の参加者もいると、松浜海岸の環境整備に理解も深まり事業が効果的になるのではないか。

<次回について>

植樹の実施状況について、情報共有をすることとする。

第 3 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	平成 29 年 9 月 21 日 (木) 午後 3 時～午後 4 時 35 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 1
出 席 委 員	渡邊(正之)部会長、梅津副部会長、若月委員、五十嵐(紀子)委員、工藤委員 高橋委員、真壁委員、村中委員、岡委員
欠 席 委 員	曾我委員
事 務 局 関 係 課	豊栄地区公民館長、北区教育支援センター所長、北出張所長、総務課長、 商工観光係長、地域課 (小林補佐、高野)
会 議 要 旨	<p>○平成 30 年度 北区特色ある区づくり事業について</p> <p>「大学生と商店街活性化事業」</p> <p><真壁委員より></p> <p>空き家を活用するなどし、Wi-Fi (公衆無線 LAN サービス) を利用できる大学生の過ごせる場所、たまり場を作れないか。</p> <p>大学生が自ら出店することは難しいが、学生がまちを歩くだけで何か変わるかもしれない。</p> <p><産業振興課：松田係長></p> <p>市場での出店料は 1 回あたり 300 円程度。</p> <p>空き家活用の補助金制度もあるが、3～5 年先までの継続的計画が必要。</p> <p><主な意見></p> <p>電源、Wi-Fi を用意すれば、人が係わり合いを持つ。段階的に活動の場が広がり、教育や福祉へと繋がっていく。</p> <p>地域の茶の間で健康体操、社協まごころヘルプへの参加など、学生の動ける時間に学生のできることを提案し、目的をつくってあげるとよい。</p> <p>万代で行われている健康福祉まつりはたくさんのブースがあり、歩いているだけで福祉に関心を持つことができる。こういったものを参考にできないか。</p> <p>○平成 30 年度 特色ある区づくり事業</p> <p>「区民の一体感醸成プロジェクトーみんなの区役所づくりー」</p> <p><五十嵐委員より></p> <p>区役所新庁舎整備について、自らが行きたくなるまちづくりを目指したプランを募集し、コンペを行う。ハリウッドウオークオブフェイム (人名の刻まれた星型プレートが並ぶ歩道) の様なことも取り入れ、一体感の醸成を図る。</p> <p><総務課：高橋課長></p> <p>平成 30 年度から 32 年度までに段階的に進める。30 年度にワークショップ</p>

会 議 要 旨

プ形式によるアイデア検討と発表会を開催。区民等からアイデア募集も行う。

31年度に「新庁舎みんなの夢プラン検討委員会」を設置し、具体的な実施計画を作成。32年度より区民と行政との協働で実施していく。学生を含め多くの区民から参加いただくことで、住民の地域への帰属意識が高まり、持続的な賑わい創出が期待できる。

<主な意見>

あまり制約などなく、課題は提供し、夢を話し合える場所があるといい。真壁委員の提案と一緒に含んでやった方がいい。

新庁舎周辺の各施設との連携を図り、世代間交流、地域間交流を促す受け皿を作っていくということ。

○自治協提案事業「命」の教育（福祉教育部会だよりの発行について）

家庭教育はとても大切。より多くの子育て家庭に伝えたい。

家庭教育支援ガイドブック（県教育委員会・県地域家庭教育推進協議会発行）を基にし、福祉教育部会だよりを発行していく。

作成済みの1号案について検討を行う。

<主な意見>

穴あけをし、ファイリングして取っておける形態にしたい。

SNSでの発信という手法もとれないか。

子育てだけでなく、例えば認知症の理解をテーマに福祉についてもふれるものにできないか。

地域の支え合いに若い世代をどう取り込んでいくかが課題となっている。小学生の保護者に福祉について知ってもらえる機会になる。

最初はターゲットを絞り、小学校を通じて各世帯に配布し、反応をみて幼稚園や保育園への配付も考えていきたい。

→10月から来年3月まで、毎月小学校を通じて各世帯に配布する。

1号案については10月に発送。2号からは教育、福祉でそれぞれ1面ずつとする。次回部会までに2号案を作成する。

○早通健康福祉会館の視察について

火曜が賑やかである。都合のいい日を段取りする。

○教育ミーティングについて（中山教育支援センター所長より）

福祉教育部会委員との意見交換を行う教育ミーティングは、平成30年1月18日（木）で調整する。

第 3 回 自然文化部会 会議概要

日 時	平成 29 年 9 月 21 日（木） 午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分
会 場	北地区コミュニティセンター 1 階 第 2 講座室
出席委員	若尾部会長、阿部副部会長、赤間委員、松田委員、渡邊委員、内川委員、川居委員、後藤委員
欠席委員	高口委員
事務局 関係課	区民生活課長、地域課（柏木、西脇、貝瀬） 環境政策課職員
会 議 要 旨	<p>○ラムサール条約登録に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 市の条約登録に関する経緯等について情報共有</p> <p>関係課から出席してもらい、昨年 10 月に自治協から市長への要請書提出後のラムサール条約登録に向けた市の取り組み経過について、「地域の合意形成に至らず、2018 年の登録スケジュールに間に合わなかった。今後も次回 2021 年の登録に向けて機運醸成を図っていく。」旨の説明を受けた。</p> <p>(2) 部会現地視察について</p> <p>北区内の潟（湿地等）の視察日程を 10 月 17 日（火）とした。</p> <p>(3) 自治協提案事業について</p> <p>今年度の「北区の潟の魅力発信事業」について、自治会長・町内会長に感謝の集いの機会にあわせて、潟環境研究所の大熊先生を講師として自治会長向けに勉強会を開催する方向で確認した。ビュー福島潟の展示や北区水辺マップのリニューアルについて、次回以降、具体的に検討していく。</p> <p>来年度の事業は、方向性として、本市の水辺環境のシンボルでもある福島潟の「潟の恵み」にスポットをあて、観光や水と土の芸術祭と連携し、年間を通じた事業展開を図ることが望ましいとの意見があった。</p>